

令和6年度 NPO パートナースhip創造事業補助金

活動報告会報告書

団 体 名	「絆を結ぶ物語」実行委員会
実 施 日 時	令和6年8月3日（土）～令和7年1月12日（日）
事 業 費	664,745円
事 業 概 要	◇「学びの1週間：令和の学びがここにある！」の開催 ・令和6年8月3日（土）～8月9日（金） ◇「絆を結ぶ物語楽園」の開催 ・6月、7月、9月、11月、12月、1月、2月開催 ◇「多様な子どもたちへのサポート事業」 ・「誰一人取り残されない」を具現化するサポート事業として、不登校や不登校傾向で悩みのある児童・生徒を対象にした講演会や体験活動。 ※『オモロー授業発表会 in 小林市』の開催
事 業 実 績	◇学びの1週間では、512名を集客。幼児から一般までを対象にした幅広いプログラムを準備し、参加者が満足できる内容を提供できた。 ◇絆を結ぶ物語楽園では、こども課や企画政策課と連携したプログラムや、高校生たちに興味・関心のあるプログラムが実施できた。 毎回、20名～40名の参加者があった。 ◇オモロー授業発表会 in 小林市では、高校生たちが誰一人取り残されない小林市の教育のために、教育に関心をもって貰いたいとの想いで企画・運営をすることができた。110名の集客と資金調達にも挑戦できた。
工夫した点	◇大きく掲げた目標は『人づくり・人財育成』。小林市の現状を把握し、楽しみながら人材育成に繋がるプログラム等を準備した。 ◇市内の高校生たちが主体的に考え、一歩踏み出せる環境作りや声かけ等に気をつけながら伴走した。 ◇学校の枠・学年の枠を外し、誰でもいつでも楽しく参加できる雰囲気づくりを心がけた。
反 省 点 （ 課 題 ）	◇持続可能な活動にするためのシステム作りが必要である。 ◇何かを始めるためには予算の確保が必要であること。 ◇高校生たちの心を揺さぶりながら、灯をつける源泉が必要。
今後の計画	◇令和7年度も「学びの1週間！」を企画・開催する。 ◇令和7年度も「オモロー授業発表会 in 小林市」を企画・開催する。 ◇令和7年度も「絆を結ぶ物語楽園」を企画・開催する。 ◇令和7年度、高校生たちが主体となった地域の課題解決のための企画を検討し開催する。